

海外ローミングサービスに再び挑戦！ クアラルンプール（2000/01/05 ～ 01/09）

1. 海外ローミングサービスに再び挑戦！

前回トルコでは失敗に終わった、海外からのインターネット接続。今回は万全の体制で望んだ。週刊アスキーの九里氏の連載「モバイルへの道」を参考に、設定を完了。

日本からマレーシアへ国際電話をかけて、ちゃんとながらるかを確認した。これで、インターネットとメールの受信はばっちりだ。

しかし、そのままでは、ニフティのメールは送信できないということであった。

そこで、そちらの設定も苦労しながら完了。あとは、簡単！ 現地ですぐにつながる……はずだった。

2. ホテルの通信環境に感激！

宿泊しているシャングレラ・ホテルの部屋には、なんと「PC」と「FAX」2つのモジュージャックがあった。日本と同じなので、とても楽である。こんなに通信環境のいいホテルに泊まったのは初めてである。多分、こういうサービスは世界中のホテルで常識いや不可欠となっていくだろうと予感。

さっそくメビウス PJ を起動する。モデムチェッカーは、緑色。電話線をつないで GO！

あれっ？ モデムが検出されない。

数回やってもダメ。

調べてみると「フロントに連絡して使えるようにする必要あり」と書いていた。

しょうがないから適当な英語で、「モデム回線を使いたい」と電話した。向こうが何やら言ってきたことは、さっぱりわからなかった。その後、すぐにモデムが検出できたから、私の英語は見事(?) 通じたということが証明された。えっへん。

だが、これで、すぐに成功とはいかなかった。外線発信番号「9」を入れなければならない。

おまけに、市内通話に設定しなければならない。(KL 市内は「3」をはずす)

結局、使い慣れている、モバイルギア II の方が先に成功した。その後、メビウスも成功したけどね。



【モジュージャック】

3. ホームページのアップにも成功

インターネット接続ができたのだから、当然といえば当然なのだが…。自分では、まさか海外でこんなことができるとは思わなんだ。

こうやって、リアルタイムで海外リポートを伝えられるということは、非常に便利だよなあ。

(家族がいたら、なおさらでんなあ)

この方法、電子メールよりも便利だと思う。



【MebiusPJ & MobileGear】

4. 日本にいるのとほぼ同じ情報が手に入る

日本のニュースは、朝日新聞や読売新聞のホームページで見た。日刊スポーツで芸能記事なんかもある……。ニフティのニュースサービスより、ずっと速くダウンロードができる。おまけに、宿泊しているシャングレラ・ホテルのテレビは、NHK が見られるのだ。(録画じゃないよ) つまり、海外にいても「浦島太郎」ならず済むということだ。

日本人が、もっともっと積極的に、かつ、気楽に、海外進出できる環境が整ってきたなあという実感である。